

公共交通を考えるワークショップ

第3回

この地域のくらしの足を
どうしたらよいか？

みんなで考える
ワークショップ

引田・代継・網代区域

《引田・湧上・代継》

日時：平成30年11月23日（金・祝）

午後2時～午後4時（予定）

場所：楓ヶ原会館



ワークショップの実施にあたって

1) ワークショップの進め方

第1回（9月24日（月・祝））・・・開催済み
「ワークショップの目的と地域の現状を知ろう」

第2回（10月13日（土））・・・開催済み
「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

第3回（本日）
「地域に必要な交通がどのようなものかを考えよう」

⇒あるべき姿を踏まえて、さらに具体的に考えます。

地区にお住まいの方（抽出）に
アンケート調査を実施予定

第4回（平成31年1月14日（月・祝）午後2時～）
「地域の交通手段を考えよう」

⇒ワークショップの結果を、地域の案としてまとめます。

ワークショップの実施にあたって

2) 本日のワークショップで行いたいこと

第2回ワークショップまでのふりかえり

- この地区の第2回ワークショップまでのふりかえり
- (参考) ほかの地区における第2回ワークショップまでの意見の概要

この地区の交通サービスの方向性(素案)の確認

グループワーク

- それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット(良い面と悪い面)がありますか?



ワークショップの実施にあたって

3) ワークショップでの“約束”

- たくさんの意見・アイデアが大事です。正解はありません。思い切って自分の思いをお話ください。
- 考え方は人それぞれです。自由な意見交換ができる雰囲気づくりを心がけましょう。
(最初から意見を否定・非難しない。人の話をさえぎらないなど)
- みなさんがたくさんの意見を出せるよう、1人のお話が長くなり過ぎないよう心がけましょう。

ご協力お願いします！！



ワークショップの実施にあたって

3) ワークショップでの“約束”

- 会議ではいろいろな意見が出るとは思いますが、
「最後はまとめる」ことを心がけましょう。
- せっかくの機会なので、楽しく、前向きな意見交換をしましょう。（文句ではなく、リラックスして話しましょう。）

ご協力お願いします！！



第2回ワークショップまでのふりかえり

第1回ワークショップで出たご意見 「地域の現状を知ろう」

■ 外出の目的と目的地

- 通勤・会議、通院、買物が主な目的。目的地は市内各地と近隣市町などが主（通勤等では都心等もある）。

■ 交通手段

- 市内や近隣市町への外出は、基本的に自家用車を使用。周辺の移動では自転車や徒歩。通勤ではバスの利用もある。

■ 外出で困っていること（主なもの）

- バス停が遠い。バスは本数が少ない。
- 自家用車以外の交通手段がない。
- 自家用車の運転ができなくなると、外出しなくなる。
- 南北方向の交通手段がない。
- 南北方向の坂が大変（特に北行き）で、雪の日などは坂が上がれず広い道まで出られない。
- タクシーが不便（特に介護タクシーは料金が高い）。
- 武蔵引田駅周辺は、駐車スペースが少ない。

第2回ワークショップまでのふりかえり

第2回ワークショップで出たご意見「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

- 【1つ目のグループワーク】この地区の交通に、どのような機能や役割が必要か？
- 【2つ目のグループワーク】そのうち、特に優先的に必要なものは何か？



この地区に優先的に必要なもの（テーブルごとの意見を集約） 1/2

分類	優先的に必要なもの
高齢者に優しい交通 (=誰もが使いやすい交通)	<ul style="list-style-type: none">• <u>高齢者の行動範囲</u>を拡大するための足の確保• <u>運転できない人も利用できる交通</u>• <u>ドアtoドア</u>の交通• 公立阿伎留医療センターなど<u>通院</u>で利用できる
南北方向の交通	<ul style="list-style-type: none">• <u>段丘の定点間の短時間運行</u>• <u>駅まで（特に朝夕）のアクセス</u>• JR駅まで行くバス（自宅から200m程度で乗れる）• <u>駅、病院、イオンなどへの定時運行</u>• 市内の病院、スーパーなど巡回
安い料金	<ul style="list-style-type: none">• タクシーより安く• ワンコイン程度

第2回ワークショップまでのふりかえり

この地区に優先的に必要なもの（テーブルごとの意見を集約） 2/2

分類	優先的に必要なもの
その他	<ul style="list-style-type: none">• <u>定期運行/デマンド運行の併用</u>• <u>るのバス</u>を使いやすくする• <u>小型車の運行</u> （軽自動車、ミニバンなど裏通りを走れる交通）• 運行頻度は午前・午後の2回、1日に4～5便 （＝8～10往復）など • バスがスムーズに走れるような道路整備• 人が集まるようにするための学校、病院、会社、ショッピングモールなどの地域開発



第2回ワークショップまでのふりかえり

(参考) ほかの地区における第2回ワークショップまでの意見の概要

別紙「各区域における第2回までの検討結果概要」参照



この地区の交通サービスの方向性(素案)の確認

- 「目的」
- 「交通サービス」の候補(メニュー)は、
お考えやイメージと、大きなずれはないでしょうか？



〔「交通サービス」の具体的な内容については、次のグループワークで！〕



この地区の交通サービスの方向性（素案）

1. この地区の交通サービスの目的

鉄道駅や病院、買物に行く、南北方向の交通を確保する。

この目的でOK？

2. 主な利用者の想定

- 高齢者
- 自分で車を運転できない方※

※なお、この「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方を含むととらえていますが、よろしいでしょうか？



3. 導入を検討したい交通サービス（候補）

分類	サービス内容	備考
1) <u>南北方向の交通</u>	<ul style="list-style-type: none"> • 地区と駅を結ぶシャトル便を運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 駅まで行く交通（特に朝夕のアクセス）。
	<ul style="list-style-type: none"> • 地区と駅、病院、スーパー（イオンなど）などを巡る車両を運行する。 	（具体的なサービス内容は、要検討）
	<ul style="list-style-type: none"> • 段丘の定点間を結ぶ車両を運行する。 	
2) <u>ドアtoドアの交通</u>	<ul style="list-style-type: none"> • 自宅の近くから目的地まで、必要な時に利用できる車両を運行する。 	
3) <u>定路線型の交通</u>	<ul style="list-style-type: none"> • 決まった路線と決まったダイヤで小型の車両を運行。 	<ul style="list-style-type: none"> • 10人以下の車両の場合は、一般的に乗合タクシーといわれる。

このメニューで、検討を先に進めてOK？

内容は、この後のグループワークで

(参考) 移送サービスについて

- あきる野市社会福祉協議会では「移送サービス」を行っています。
- 高齢者、障がい者などでタクシーを含む公共交通機関を利用することが困難な方を対象に、協力員が福祉車両で自宅から医療機関などへ送迎するサービスです。

(介護保険認定の有無や障がい者手帳の有無等には関係ありませんが、いわゆる「元気な方」は利用できません)。

利用時間：午前9時から午後5時

利用料：800円（30分以上1時間未満）

1時間以上は30分につき400円。

グループワーク

それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

交通サービス（候補）の主なメリット、デメリット 1 / 2

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) <u>南北方向の交通</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区と駅を結ぶシャトル便を運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区と駅の間を行き来しやすくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行の仕組みづくりが必要。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区と駅、病院、スーパー（イオンなど）などを巡る車両を運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅、病院、スーパーなどに行きやすくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行の仕組みづくりが必要。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 段丘の定点間を結ぶ車両を運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南北方向に行き来しやすくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行の仕組みづくりが必要。

①具体的なサービス内容について、ご意見をください。

②これ以外のメリット、デメリットを挙げてください。

交通サービス（候補）の主なメリット、デメリット 2 / 2

分類	サービス内容	メリット	デメリット
2) <u>ドアtoドアの交通</u>	<ul style="list-style-type: none"> 自宅の近くから目的地まで、必要な時に利用できる車両を運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な時に、自宅近くから目的地まで利用できる。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 運転手の確保等が流動的である。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <u>利用する際に予約が必要。</u> 運行の仕組みづくりが必要。
3) <u>定路線型の交通</u> ※	<ul style="list-style-type: none"> 決まった路線と決まったダイヤで小型の車両を運行。 	<ul style="list-style-type: none"> 路線が決まっているので、<u>分かりやすい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 運行の仕組みづくりが必要。

※地区内で、るのバスのサイズの車両が通れるのは都道169号線。ワゴン車が通れる幅がある道路は、東西方向の出雲・熊野通りと間坂通り。
（第1回ワークショップ資料より）

次回予定

第4回（平成31年1月14日（月・祝）午後2時～）
「地域の交通手段を考えよう」 場所：千代里会館

内容（予定）・・・変更になる可能性があります。

○地区へのアンケート調査の結果報告

○素案の提示

- ・第3回までの内容と地区へのアンケート結果を踏まえてまとめたものをご説明する予定です。

○グループワーク

- ・素案を踏まえて、この地区の交通について地区の案としてまとめる予定です。

※この地区に（公共）交通を入れるにあたり、みなさまにご協力いただける部分があるのかどうか、お聞きする予定です。（考えておいていただけると幸いです）



(参考資料) ワークショップについての補足

1) ワークショップ開催の趣旨

2000年10月
(平成12年)

るのバス開業

2015年度
(平成27年度)

公共交通の利用に関する市民意識調査の実施

2016年度
(平成28年度)

「あきる野市公共交通のあり方検討会議」を設置
⇒ 「あきる野市公共交通のあり方に関する提言書」

2017年度
(平成29年度)

「あきる野市公共交通のあり方検討報告書」
⇒ 優先的に公共交通対策を検討する必要がある地区を、市が「公共交通優先検討区域」と設定



〔深沢区域、引田・代継・網代区域、
草花折立下区域、東秋川橋西側区域〕

「引田・代継・網代区域」も該当

ワークショップを開催して、地区の交通の現状、課題、あり方などについて、地区のみなさまと一緒に考えていきます。

2) ワークショップを行う理由

- ① 区域の皆様が日ごろ交通手段をどうされているかは区域の皆様にお伺いするのが一番です。
- ② 様々な交通手段を考えるために、区域の皆様からご協力いただける部分があるのかどうかをお教えてください。
- ③ 公共交通対策などを進めるに当たり、市民の皆様と行政とで共通の認識を持つことが必要です。



そのため、この取り組みへ積極的な参加・ご協力をお願いします。

3) ワークショップの成果

ワークショップの成果（予定）

ワークショップ（第1回～第4回）



「新たな公共交通の導入は必要なのか」、
「必要な場合、どのような交通手段を入れるのがよいか」
ということについて、地区としての案をまとめます。



今後の取り組みを進めるうえでの検討材料として活用。

- 市が設定した4つの「公共交通優先検討区域」（深沢区域、引田・代継・網代区域、草花折立下区域、東秋川橋西側区域）での案を踏まえ、この4つの区域の内、優先的に対策が必要な区域がどこかを考えます。
- 来年度以降、実証実験の実施について検討します。